

資料 1 ①

話題提供 「文理融合・学際的な教養・知的基盤教育の課題」

まず、前提としての簡単なおさらいを。

—放送大学を例にして—

教養教育とは？

中世の大学に始まるリベラル・アーツ (Liberal Arts) * の科目群の伝統を受け継いだ教育を指す。 *自由人の諸技術(artes liberales) ギリシャ・ローマ時代からルネッサンスにかけて一般教養を目的とした自由七科、すなわち文法、修辞学、論理学の3科、算術、幾何、天文、音楽の4科。哲学はそれらの上位にあり、論理的思考を教える。

米国におけるリベラルアーツ・カレッジ： 少人数体制による基礎的教育で(全寮制)、物の考え方を養うことに重点を置き、主専攻と副専攻で学ぶ。専門分野を学ぶのは大学院に進学して以降となる。

文理融合とは？

旧制高等学校における「文科」と「理科」

文系：おもに人間の活動を対象とする学問の系統 「人文科学」、「社会科学」

理系：おもに自然界を研究する学問の系統 「自然科学」

戦後の4年制の国立大学における教養部(一般教育課程・教養課程)、文理学部、教養学部におけるリベラル・アーツ教育組織の多くは、旧制高校や大学予科などの教員組織を引き継いだ。40年ほど経っての1991年からの大綱化政策により改変や解体した。残したのは、東京大学教養学部、国際基督教大学、放送大学、埼玉大学、桜美林大学、玉川大学など。

学際 (interdisciplinary) とは？

知識や概念の体系で括られる学問分野、学問大系、学問領域 (discipline、たとえば、数学、物理学、化学、生物学など) の複合 (総合) をいう。

科学研究費では複合領域。

組織例： 総合科学 (Integrated Arts and Sciences) 大阪府立大学、広島大学、徳島大など。京都大学は総合人学部、東京大学には総合文化研究科。

学際性の強い学問： 情報学、環境学、家政学、社会福祉学、心理学・・・。

放送大学 (The Open University of Japan) の説明

(1) 特別な学校法人

放送大学の設置母体である放送大学学園は、1981年に「特殊法人」として設置され（文部科学省、総務省所管）、2003年10月1日から「特別な学校法人」になった（放送大学学園法）。民間事業化されたが、放送大学の特殊な役割を考慮して、特別な措置が講じられている。放送大学は、放送により社会人等に対し広く大学教育を提供するという役割を行うことが目的とされている。この「特別な学校法人」への転換では、以下の4点が特に留意されている。

- ① 自主的・自律的な大学運営を図ることが求められている。
- ② 民間的な発想や手法を取り入れて、自己収入の確保や経費削減などを行い、効率的な大学経営を行うことが必要とされている。
- ③ 生涯学習の中核的機関として、学習者の多様な学習需要に対し一層適切にかつ柔軟に応えていくこと求められている。たとえば、放送による大学教育に加えて、「全国各地の学習者の身近な場所において、面接による授業を行う」ことが、放送大学の目的とされ、多様な学習需要を汲みとることが求められている。
- ④ 放送大学学園の設置形態は、私立学校法の適用を受ける学校法人に転換したが、以上の事情によって、放送大学学園は他の学校法人にはない特徴を持っていることが認められ、この点で以下の特別の措置が整えられてきている。
 - 1) 放送局の免許取得についての特例措置（放送法、放送大学学園法）
 - 2) 国家公務員、地方公共団体職員等との人事交流
 - 3) プロジェクトを進めるための財政援助の特別措置

(2) 新しい教育方法への対応

遠隔教育におけるICT(情報通信技術) 関連のメディア(媒体) 選択

放送教材(テレビ・ビデオ・ラジオ)・印刷教材(テキスト)・面接授業(教室授業)などの手段を通じての学習を基本的な学習方法の技術革新の進展のなかで、遠隔教育の多様なメディア選択に関して、以下のような事柄が今後の重要な課題となっている。

- ① 地上デジタル放送開始 1) 学習者の「広範な利用」を確保し、2) 多チャンネル機能等を活用した「教育効果の向上」を目指し、3) 「安定した授業番組の配信」を図ることができる。こうした特質を考慮すると、地上デジタル放送と衛星放送の組合せが最も有効である。CS放送からBS放送への移行が計画されている。
- ② インターネット (電網) によるストリーミング配信(動画、音声など)、あるいは各種のe-ラーニングシステム(情報通信による学習)は、ブロードバンドが普及してきている現在の状況では、かなり有効な通信メディアになりつつある。著作権における問題を解決

した上で、放送教材や面接授業などの配信についても、ラジオ科目はほぼ100%を実施し、テレビは実験段階になっている。インターネット関連メディアは、情報伝達ばかりでなく、映像配信を含む教材配信などの分野でも、今後 学生層に浸透していくものと考えられる。

③ 独立行政法人メディア教育開発センターが、2009年に放送大学へ合併された。

衛星通信教育ネットワーク (SCS) や、CD-ROM・DVD 教材制作は、実験が続けられてきた。今後は、附置のICT活用・遠隔教育センターとして、放送・通信・インターネット・マルチメディア全体について、ICT を利用した遠隔教育を推進することが期待されている。

④ 面接授業についても、ICT 利用による補完的な授業形態が模索されている。放送大学では、前述のSCS の実験に加えて、学部の卒業研究や大学院研究での研究指導や面接審査で、各学習センターに設置されている「テレビ電話」利用による授業形態が実際に行われている。また、近年インターネット利用の IP 電話、ビデオ電話が普及してきており、これらを利用する実験も行われつつある。

(3) 21世紀に放送大学が目指すもの

放送大学が21世紀に目指す大学教育の基本目標は、以下の3点である。

① 放送大学には、「生涯学習」の中核機関としての役割を果たすことが求められている。

今日情報化と国際化などの進展が急速に進み、大学教育をめぐる環境の変化が起こってきている。このような知的状況の変化が生じてきているために、社会人や職業人等のなかで、生涯学習の広範で多様な学習需要が、今後もより一層生じてくることが予想されている。放送大学は、このような大学・大学院レベルの高度な生涯学習 の機会を提供する必要がある。

② 放送大学には、「遠隔教育」の推進が求められている。21世紀には、放送メディアをはじめとする各種メディアが高度化することが予測されている。遠隔教育の重視と並んで、放送大学は学習センターを中心とした身近な生涯学習環境の整備を図るなどして、学習者のための基盤整備と、遠隔教育を補完する地域に密着した 拠点づくりも同時に行わなければならない。

③ 放送大学は、21世紀における新しい教養教育のモデルを提供して、「教養教育」の中核的な大学・大学院としての役割 を果たす必要がある。現代における教養教育とは何かという問いかけが重い意味を持つ。

西欧近代化の流れの中での200年から、地球生態系の中でのサステイナブルな人類の幸せな生存を設計する新しい環境制約の時代に至った。新時代の到来とともに、新しい知識が次々と生まれる中で、これらの知識を総合して、豊かな生活を過ごすことができるような知の活性化が、新しい教養教育では必要とされている。

放送大学は、21世紀型の新たな教養教育において、大きな公器としての寄与することを目指している。

放送大学の特色

学生側

- (1) 提供されている授業科目数が非常に多いので、幅広い学習ができる。あまり専門に特化しない。(文理融合・学際型)。
- (2) 入学はたやすいが、卒業は難しい。学部は入学試験はなく、インターネット出願・証明書郵送による入学審査のみ。
- (3) 学費が通学課程の大学に比べると、格段に安い(1単位5,500円、124単位で682,000円、1年あたり170,500円)。
- (4) 全科生(卒業を前提とした受講)、選科生(各科目のみ受講)が混ざっている。
- (5) 全国にある地域の「学習センター」を利用できる。面接授業(20単位以上)
- (6) 在宅時の自学自習を主体としている。学生の厳しい自己管理が必要。
- (7) 高い学習意欲のある学生が卒業できる(意欲が少なければ、脱落する)。
- (8) 学生と教員との対話、学生間の交流が不十分になりやすい(かなりの努力をしなければ、孤独である)。
- (9) 他大学、短期大学の卒業生、本学のリピーターが増加しつつある。
- (10) 今後はテレビ・ラジオ放送のみならず、インターネット教育の利点を活かせる。
- (11) 視覚、聴覚、身体などの障がい者が、在宅で学習できる。

大学側

- (1) 教員の定員の割りには、教養教育への理解のある幅広い分野の教員が必要。(文理融合・学際型)。多人数の特任や客員教員(非常勤)。
- (2) 単位認定試験の実施、合格水準の問題。多くは択一式問題のコンピュータ採点。記述式問題の採点の煩雑性(受講生が多数の場合)。
- (3) 「学習センター」における面接授業(教室授業)と学生交流の場(サークル等)や履修相談の場を提供。面接授業は全国で3000件も開講している。
- (4) 印刷教材作成という大きな事業(学生の負担を考慮すると、市販の大学教科書はあまり使えない。)のため、(財)放送大学教育振興会がある。
- (5) 放送教材作成での、著作権使用許諾の取得の問題(文芸、音楽、美術、建築、図形、映画、写真、ソフトウェア)
- (6) 通信指導における添削の問題(受講生が非常に多い授業)
- (7) 演習、実験、実習、実技を行う上での問題(施設、担当人員)
- (8) 授業内容に対する質疑応答における問題(通信)
- (9) 遠距離の学生に対する緊密な指導が行いにくい(旅費)。
- (10) 看護師、司書教諭などの資格取得関連の業務。教員免許更新の講習。
- (11) 連携大学(単位互換協定締結校)を多数持っている。318大学。
- (12) 新しいインターネット教育の開発が急務。

放送大学における授業科目の作成上の課題

(1) 授業科目の位置づけ

基礎科目とは？

大学での教育を受けるにあたって、その基盤となる初歩的知識と技法を身につける。
学問の魅力を知って、さらに進んだ学習への準備をする。

専門基礎科目とは？

共通科目*とは？

学問の諸領域を広く俯瞰しながら、それぞれのコースで扱う領域への入門とする。
その内容は、いずれのコースを専攻する学生にも理解できるもので、それらを広く
学ぶことにより、後に、専門を超える交流の障壁を低くする。

(*大学によっては全学共通科目や教養科目といている。)

専門科目 (学部科目)

各コースの教育目標に応じ、それぞれの専門分野に関係する事柄について、その理
解のための基礎、現実の諸問題への適用、学術研究の成果を体系的に修得する。

総合科目とは？

現代の社会における総合的・複合的な事柄をテーマとして、各コースで履修した成
果を生かしながら、それらを統合する。「社会の持続的発展」はそのテーマの基本
であるが、それは自然法則、人間の行動、社会の自己組織化と政治的組織化を離れ
てはあり得ない。コースを超えて知見を集約し相互に作用させながらテーマに迫る。

(2) 科目作成者

放送大学では、多くの授業は、下記の「領域」を単位として科目作成がなされている。
したがって、それらの「領域」の設定の仕方で、科目内容が異なってくる。

生活と福祉コース： 生活、健康、福祉

心理と教育コース： 教育、心理、臨床心理

社会と産業コース： 産業・経営、 社会技術

人間と文化コース： 哲学・美術、 歴史・地域文化、 文学・言語文化、 人類学・
比較文化、 情報

自然と環境コース： 生命・生態、 物質・エネルギー、 宇宙・地球、 数理

実際の科目作成に関わるものは、教員側が主任講師（2人まで）分担講師（3人まで）。これらの講師陣には、放送大学の特性を良く理解した人が就任してもらう必要がある。しかし、さまざまな分野をカバーするには専任教員が少ないので、多くの客員教員（非常勤）にたよらざるを得ない。

さらに各種のスタッフ（支援要員）の協力が無ければ教材の作成は不可能。

放送教材のプロデューサー、ディレクター、カメラマンなど

印刷教材の編集者

インターネット教材のICT技術者

考査、字幕作成、各種の許諾取得などの業務従事者

（3）授業内容

- * 作成上の費用・便益から、ある程度以上の学生数を集める授業が求められている。しかし、これが過ぎると、時流に乗ったような授業ばかりになってしまわないか？
- * 学生にとって魅力のある授業科目やその内容と、教員から見た受講して欲しい授業との相違。
- * 内容上、過度に盛り込んだり、難度が高過ぎる授業は不相当である。
- * オムニバスの講義は、一貫性の無い寄せ集めのものになる場合が多い。

（4）単位認定試験と通信指導

（5）学習センター

所長は特任教授。そして多数の客員教員が面接授業、実験、実習、履修相談などを行っている。専任教員は面接授業を行う義務があるが、とても全部をカバーできない。

（6）評価作業

- * 学生による授業評価
- * 教員による授業評価
- * 第三者による授業評価
- * 経営効率による授業評価（事務局サイド）

平成21年度第1学期教養学部授業科目講義概要目次

基礎科目

生活とリスク('07) ……………	30
かしこくなる患者学('07) ……………	30
運動と健康('09) ……………	30
こころからだ('07) ……………	30
一人間を理解するー	
市民と社会を生きるために('09) ……………	30
ー実践のすすめー	
市民と社会を知るために('08) ……………	30
ー名著に触れようー	
市民と社会を考えるために('07) ……………	31
問題発見と解決の技法('08) ……………	31
哲学への誘い('08) ……………	31
歴史と人間('08) ……………	31
コミュニケーション論序説('07) ……………	31
日本語表現法('07) ……………	31
アジアと漢字文化('09) ……………	32
世界の名作を読む('07) ……………	32
人類の歴史・地球の現在('07) ……………	32
ー文化人類学へのいざないー	
初歩からの生物学('08) ……………	32
初歩からの物理学('08) ……………	32
ー物理へようこそー	
物理の考え方('07) ……………	32
初歩からの化学('08) ……………	33
科学的な見方・考え方('07) ……………	33
エネルギー学の基礎('07) ……………	33
物質循環と人間活動('07) ……………	33
初歩からの数学('08) ……………	34
数学再入門('07) ……………	34
身近な統計('07) ……………	34
基礎からの英文法('09) ……………	35
英語の基本('08) ……………	35

共通科目

一般科目 (人文系)

基礎教育学('07) ……………	36
学校教育論('08) ……………	36
心理学入門('06) ……………	36
認知心理学概論('06) ……………	36
教育心理学概論('09) ……………	37
社会心理学の基礎と応用('08) ……………	37
精神分析入門('07) ……………	37
心理臨床の基礎('08) ……………	37
人格心理学('09) ……………	37
現代を生きる哲学('07) ……………	37
生命と人生の倫理('05) ……………	38
音楽理論の基礎('07) ……………	38
日本近現代史('09) ……………	38
地中海世界の歴史('09) ……………	38
ー古代から近世ー	
国文学入門('08) ……………	38
文学の愉しみ('08) ……………	39
人文地理学('08) ……………	39
博物館概論('07) ……………	39

一般科目 (社会系)

仕事・所得と資産選択('08) ……………	40
現代世界の結婚と家族('08) ……………	40
住まい学入門('07) ……………	40
社会福祉入門('08) ……………	40
現代の生活問題('07) ……………	40
経済学入門('08) ……………	41
経済社会の考え方('07) ……………	41
21世紀の社会学('05) ……………	41
社会調査('09) ……………	41
社会統計学('07) ……………	42
市民社会と法('08) ……………	42
日本国憲法('05) ……………	42
政治学入門('07) ……………	42
経営学入門('07) ……………	42
グローバル経営戦略('06) ……………	42
現代の会計('08) ……………	43
技術者倫理('09) ……………	43
社会と知的財産('08) ……………	43

一般科目 (自然系)

疾病の成立と回復促進('05) ……………	44
人体の構造と機能('05) ……………	44
疾病の回復を促進する薬('07) ……………	44
情報科学の基礎('07) ……………	44
生物集団と地球環境('07) ……………	45
物理の世界('07) ……………	45
基礎化学('06) ……………	45
実験科学とその方法('06) ……………	45
変化する地球環境('04) ……………	46
宇宙観の歴史と科学('08) ……………	46
惑星地球の進化('07) ……………	46
初歩からの微積分('06) ……………	46
入門線型代数('09) ……………	47
解析入門('08) ……………	47

外国語科目

英語講読('08) ……………	48
英語中級B('06) ……………	48
ーBBCドラマで学ぶー	
英語総合A('05) ……………	48
ー歴史・文化・社会ー	
英語総合B('07) ……………	48
ーPoem into Songー	
ドイツ語入門I('06) ……………	48
ドイツ語入門II('06) ……………	49
ドイツ語基礎('06) ……………	49
フランス語入門I('06) ……………	49
フランス語入門II('06) ……………	49
フランス語基礎('06) ……………	50
中国語入門I('05) ……………	50
中国語入門II('05) ……………	50
中国語基礎('08) ……………	50
ーラブレターは書きますかー	
スペイン語入門I('07) ……………	50
スペイン語入門II('07) ……………	51
韓国語入門I('06) ……………	51
韓国語入門II('06) ……………	51
日本語基礎A('06) ……………	51
日本語基礎B('07) ……………	51
初歩のアラビア語('06) ……………	52
ーアラブ・イスラーム文化への招待ー	

保健体育科目

体育実技 ……………	53
------------	----

主題科目

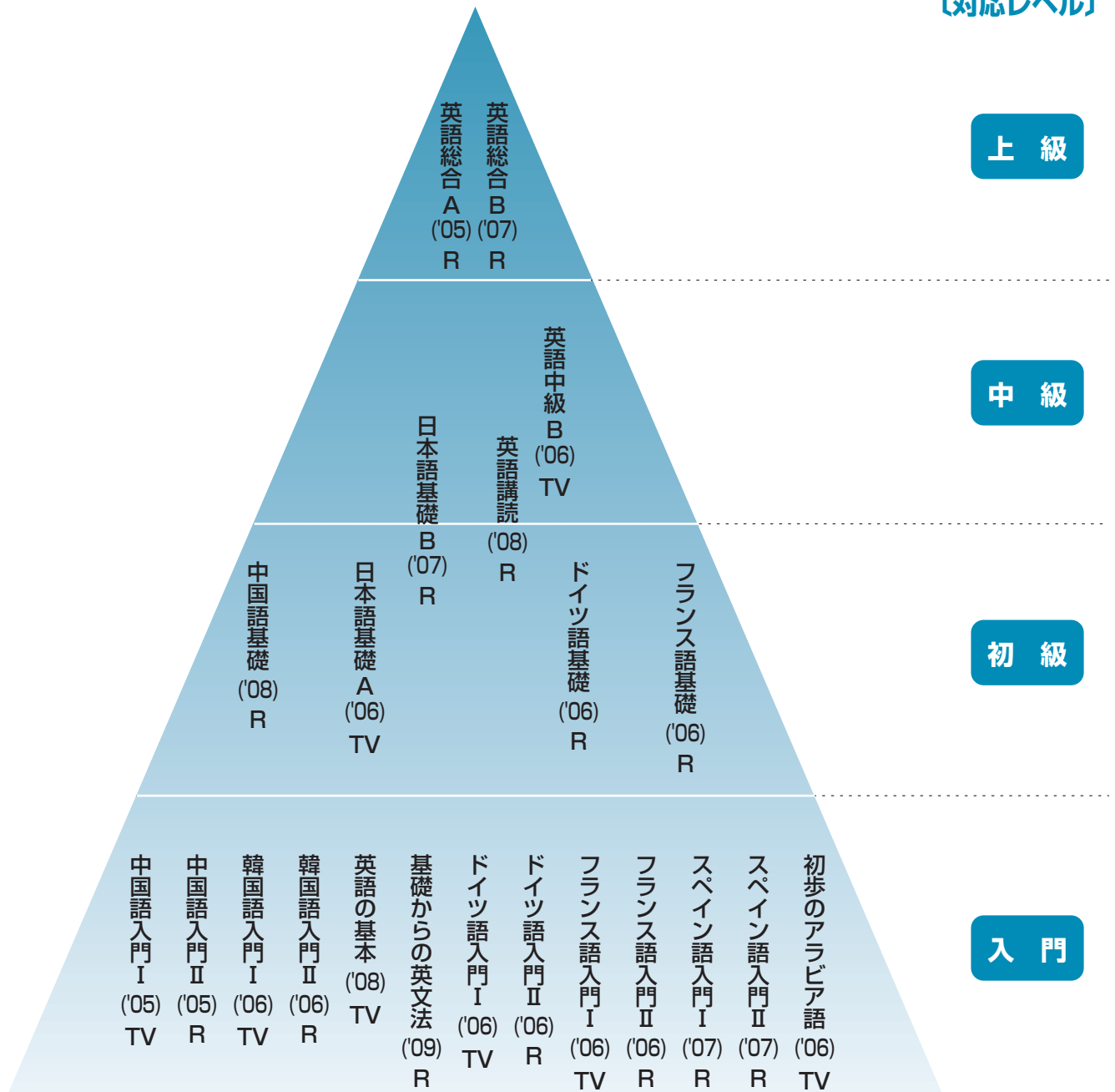
情報と社会('06) ……………	54
------------------	----

目的：さまざまな外国の言葉や日本語を学ぶことで、言葉への意識を高め、コミュニケーション能力を身につけると同時に、積極的な異文化理解に努め、国際的な視野を養うこと。

留意事項

- ・『入門』コースでは初歩的な文法からはじめ、親しみやすいように工夫されています。
 - ・『入門Ⅰ』と『入門Ⅱ』はセットにして段階的に履修すると効果的です。
 - ・卒業を目指す全履修生は、6単位以上の外国語科目を修得する必要があります。
 - ・『日本語基礎 A ('06)』と『日本語基礎 B ('07)』は、母語が外国語（日本語以外）で日本語の修得を目指す方を対象としています。
- なお、母語が日本語で、日本語に関する指導法等の修得を目指す方は、専門科目「人間と文化」コースまたは旧「人間の探究」専攻として履修することができます。（79頁、80頁参照）

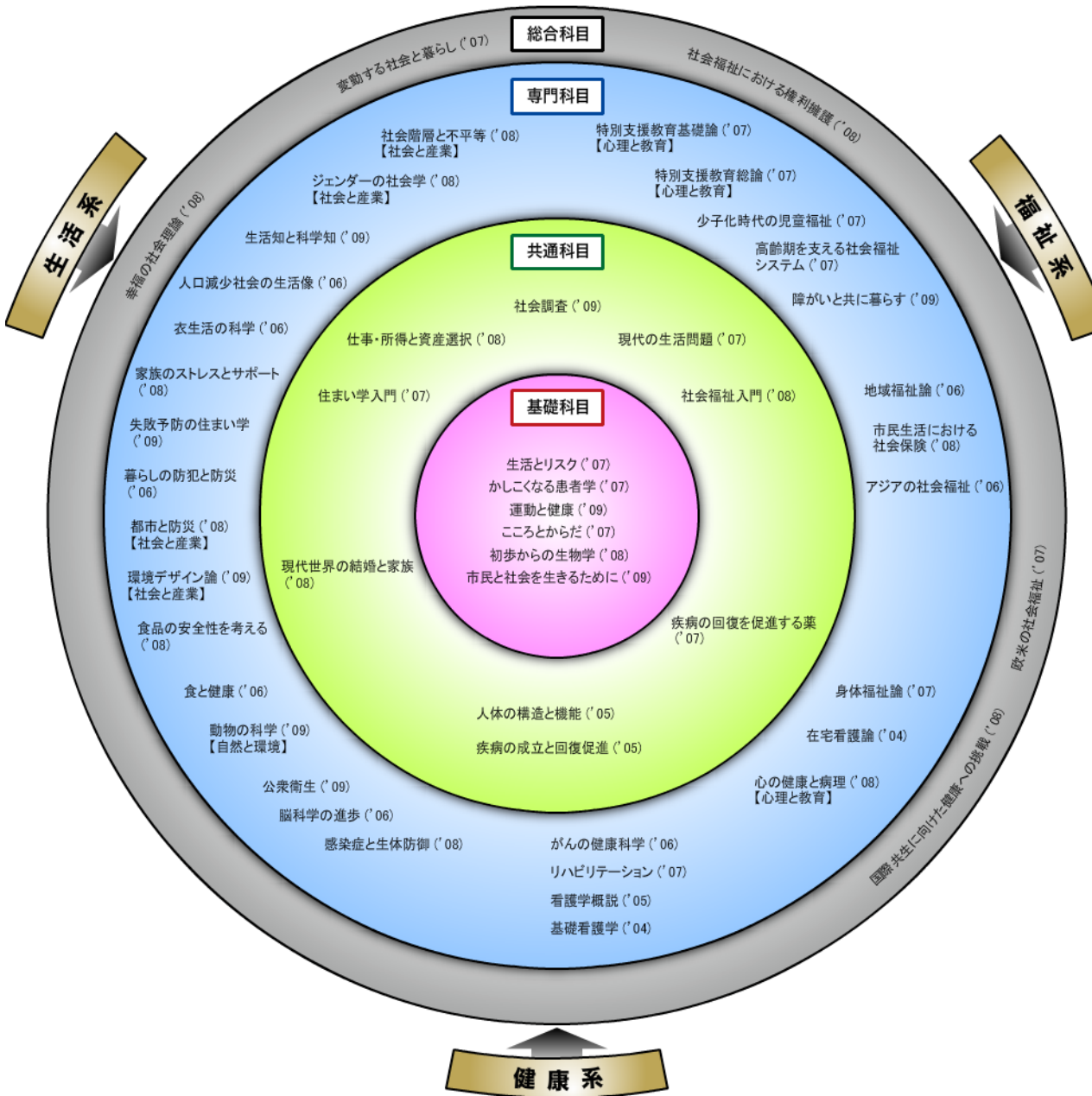
〔対応レベル〕



生活と福祉コース

《イメージ図の見方》

円の外周に行くほど専門性が深まる科目となります。
系と系の間に記載された科目は、中間領域や関連領域です。



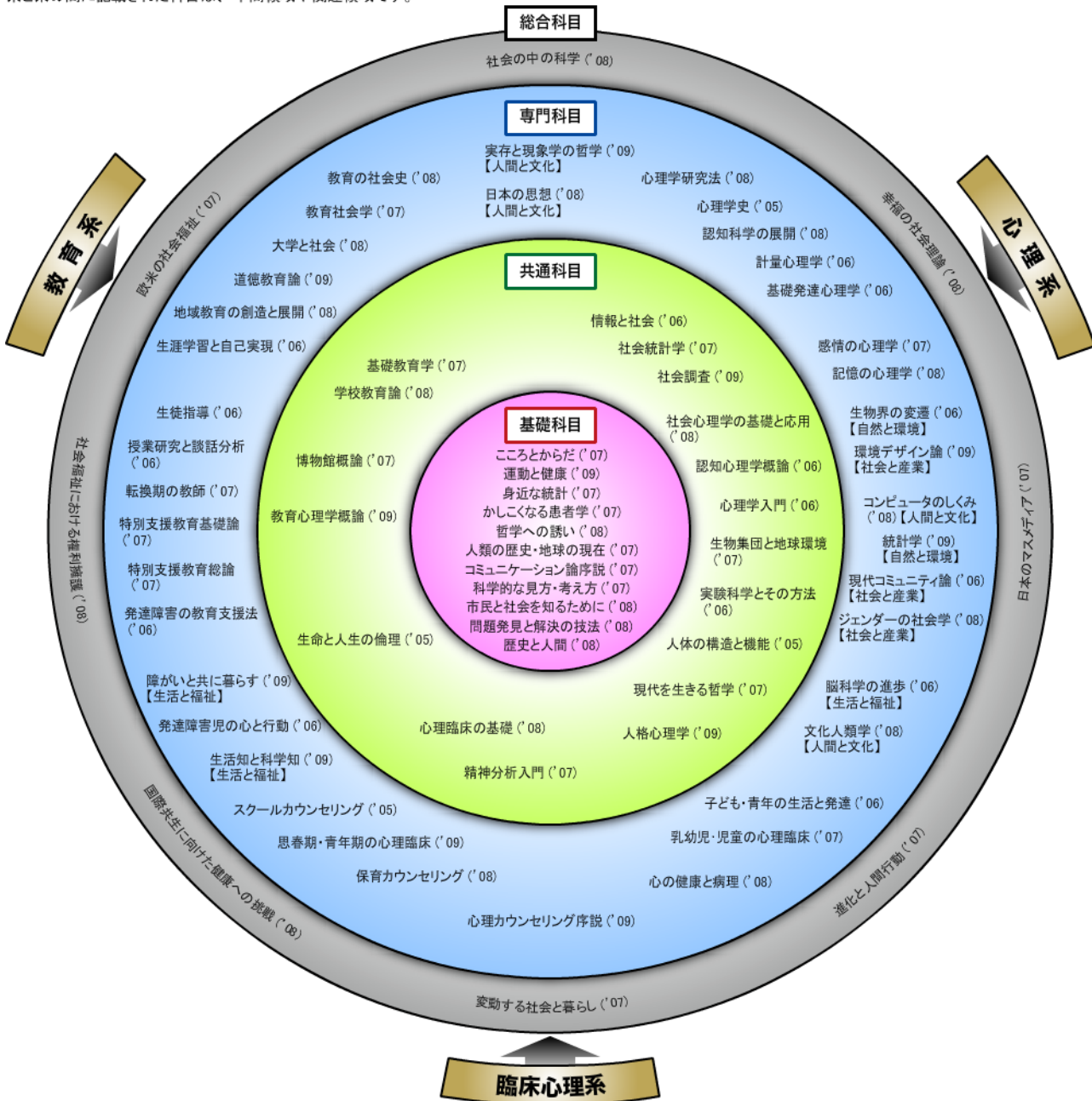
学習テーマ別履修例

家族・生活経営	生活とリスク('07)	現代の生活問題('07)	現代世界の結婚と家族('08)	仕事・所得と資産選択('08)	人口減少社会の生活象('06)
	生活知と科学知('09)	家族のストレスとサポート('08)	変動する社会と暮らし('07)	市民と社会を生きるために('09)	
	ジェンダーの社会学('08)	幸福の社会理論('08)	社会階層と不平等('08)	都市と防災('08)	
福祉	社会福祉入門('08)	社会調査('09)	現代の生活問題('07)	少子化時代の児童福祉('07)	障がいと共に暮らす('09)
	高齢期を支える社会福祉システム('07)	市民生活における社会保険('08)	地域福祉論('06)	アジアの社会福祉('06)	
	欧米の社会福祉('07)				
スポーツ科学	運動と健康('09)	人体の構造と機能('05)	身体福祉論('07)	リハビリテーション('07)	変動する社会と暮らし('07)
	初歩からの生物学('08)				

心理と教育コース

《イメージ図の見方》

円の外周に行くほど専門性が深まる科目となります。
系と系の間に記載された科目は、中間領域や関連領域です。



学習テーマ別履修例

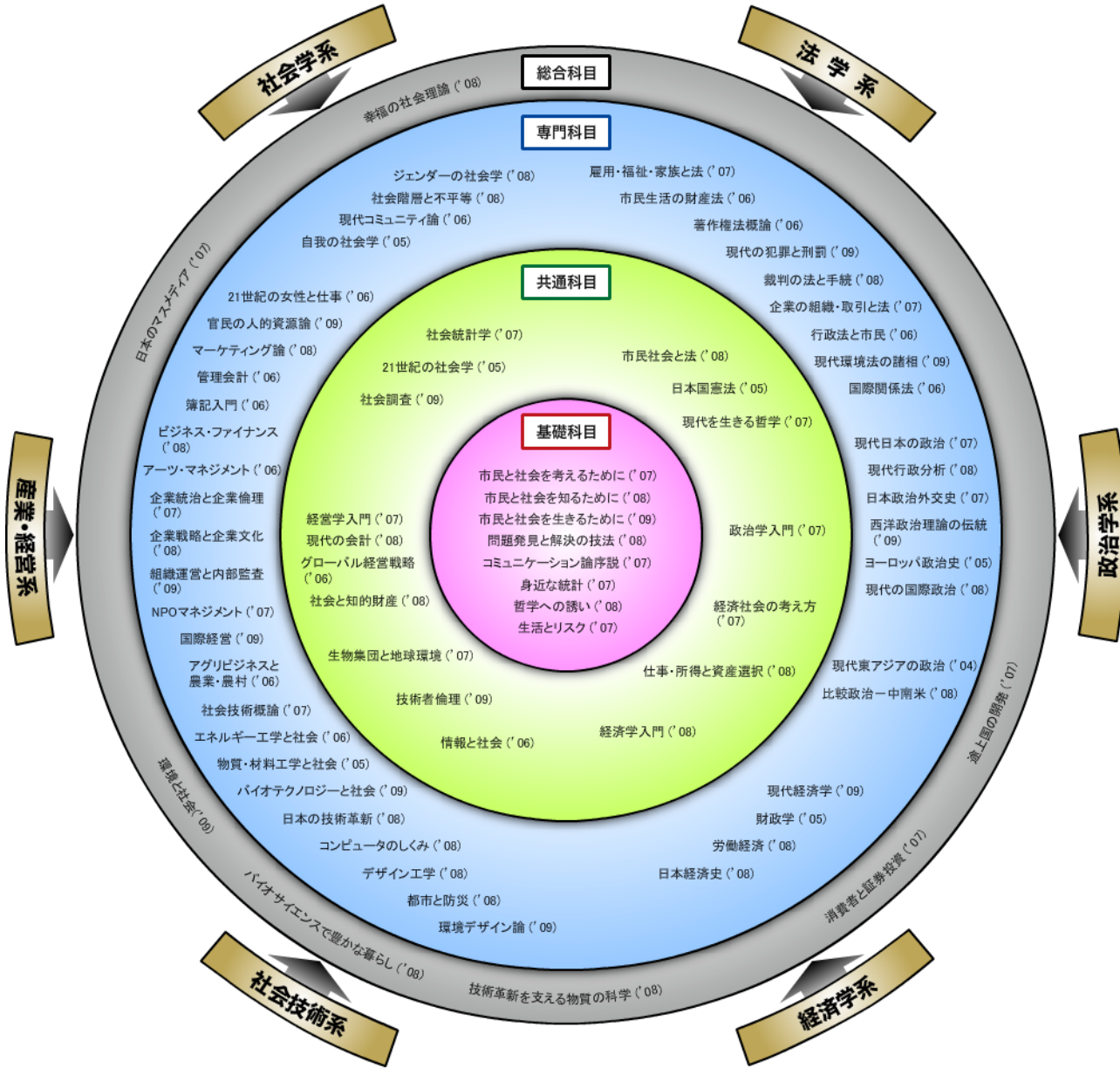
生涯教育	基礎教育学('07) 博物館概論('07) 教育の社会史('08) 教育社会学('07) 大学と社会('08) 地域教育の創造と展開('08) 生涯学習と自己実現('06) 子ども・青年の生活と発達('06)
学校教育	基礎教育学('07) 学校教育論('08) 道徳教育論('09) 転換期の教師('07) 特別支援教育基礎論('07) 発達障害の教育支援法('06) 特別支援教育総論('07) 生徒指導('06) 授業研究と談話分析('06)
心理	心理学入門('06) 認知心理学概論('06) 社会心理学の基礎と応用('08) 心理学研究法('08) 心理学史('05) 認知科学の展開('08) 計量心理学('06) 基礎発達心理学('06) 感情の心理学('07) 記憶の心理学('08) 子ども・青年の生活と発達('06)
臨床心理	精神分析入門('07) 心理臨床の基礎('08) 人格心理学('09) 乳幼児・児童の心理臨床('07) 思春期・青年期の心理臨床('09) 心の健康と病理('08) 心理カウンセリング序説('09) スクールカウンセリング('05) 保育カウンセリング('08)

▲このページのトップへ

社会と産業コース

《イメージ図の見方》

円の外周に行くほど専門性が深まる科目となります。
系と系の間に記載された科目は、中間領域や関連領域です。



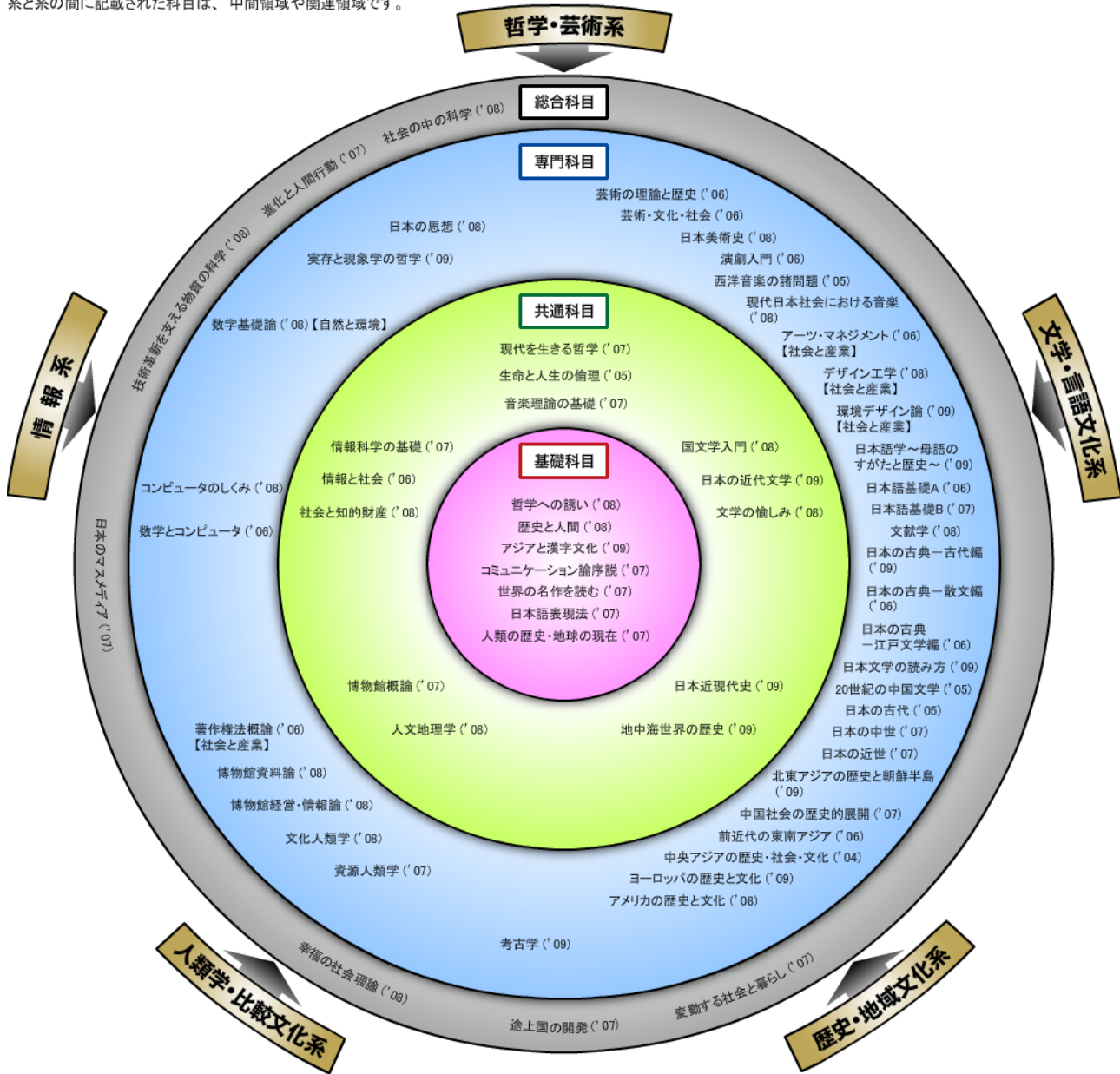
学習テーマ別履修例

法学	市民社会と法('08) 日本国憲法('05) 現代を生きる哲学('07) 雇用・福祉・家族と法('07) 市民生活の財産法('07) 著作権法概論('06) 現代の犯罪と刑罰('09) 裁判の法と手続('08) 企業の組織・取引と法('07) 現代環境法の諸相('09) 国際関係法('06)
政治学	政治学入門('07) 現代日本の政治('07) 現代行政分析('08) 日本政治外交史('07) 西洋政治理論の伝統('09) ヨーロッパ政治史('05) 現代の国際政治('08) 現代東アジアの政治('04) 比較政治－中南米('08)
経済学	経済社会の考え方('07) 仕事・所得と資産選択('08) 経済学入門('08) 情報と社会('06) 現代経済学('09) 財政学('05) 労働経済('08) 日本経済史('08)
社会学	社会統計学('07) 21世紀の社会学('05) 社会調査('09) ジェンダーの社会学('08) 社会階層と不平等('08) 現代コミュニティ論('06) 自我の社会学('05)
社会技術	技術者倫理('09) 社会技術概論('07) エネルギー工学と社会('06) 物質・材料工学と社会('05) バイオテクノロジーと社会('09) 日本の技術革新('08) デザイン工学('08) 都市と防災('08) 環境デザイン論('09)
産業・経営	経営学入門('07) 現代の会計('08) グローバル経営戦略('06) 社会と知的財産('08) 21世紀の女性と仕事('06) 官民の人的資源論('09) マーケティング論('08) 管理会計('06) 簿記入門('06) ビジネス・ファイナンス('08) アーツ・マネジメント('06) 企業統治と企業倫理('07) 企業戦略と企業文化('08) 組織運営と内部監査('09) NPOマネジメント('07) 国際経営('09) アグリビジネスと農業・農村('06)

人間と文化コース

《イメージ図の見方》

円の外周に行くほど専門性が深まる科目となります。
系と系の間に記載された科目は、中間領域や関連領域です。



学習テーマ別履修例

美学・芸術論	芸術の理論と歴史('06)	芸術・文化・社会('06)	日本美術史('08)	西洋音楽の諸問題('05)	現代日本社会における音楽('08)
	音楽理論の基礎('07)	演劇入門('06)	世界の名作を読む('07)	文学の愉しみ('08)	日本文学の読み方('09)
	ヨーロッパの歴史と文化('09)	中央アジアの歴史・社会・文化('04)	哲学への誘い('08)	現代を生きる哲学('07)	博物館概論('07)
	アーツ・マネジメント('06)	デザイン工学('08)			

歴史・地域文化	歴史と人間('08)	日本近現代史('09)	地中海世界の歴史('09)	日本の古代('05)	日本の中世('07)	日本の近世('07)
	北東アジアの歴史と朝鮮半島('09)	中国社会の歴史的展開('07)	前近代の東南アジア('06)	中央アジアの歴史・社会・文化('04)		
	ヨーロッパの歴史と文化('09)	アメリカの歴史と文化('08)	考古学('09)			

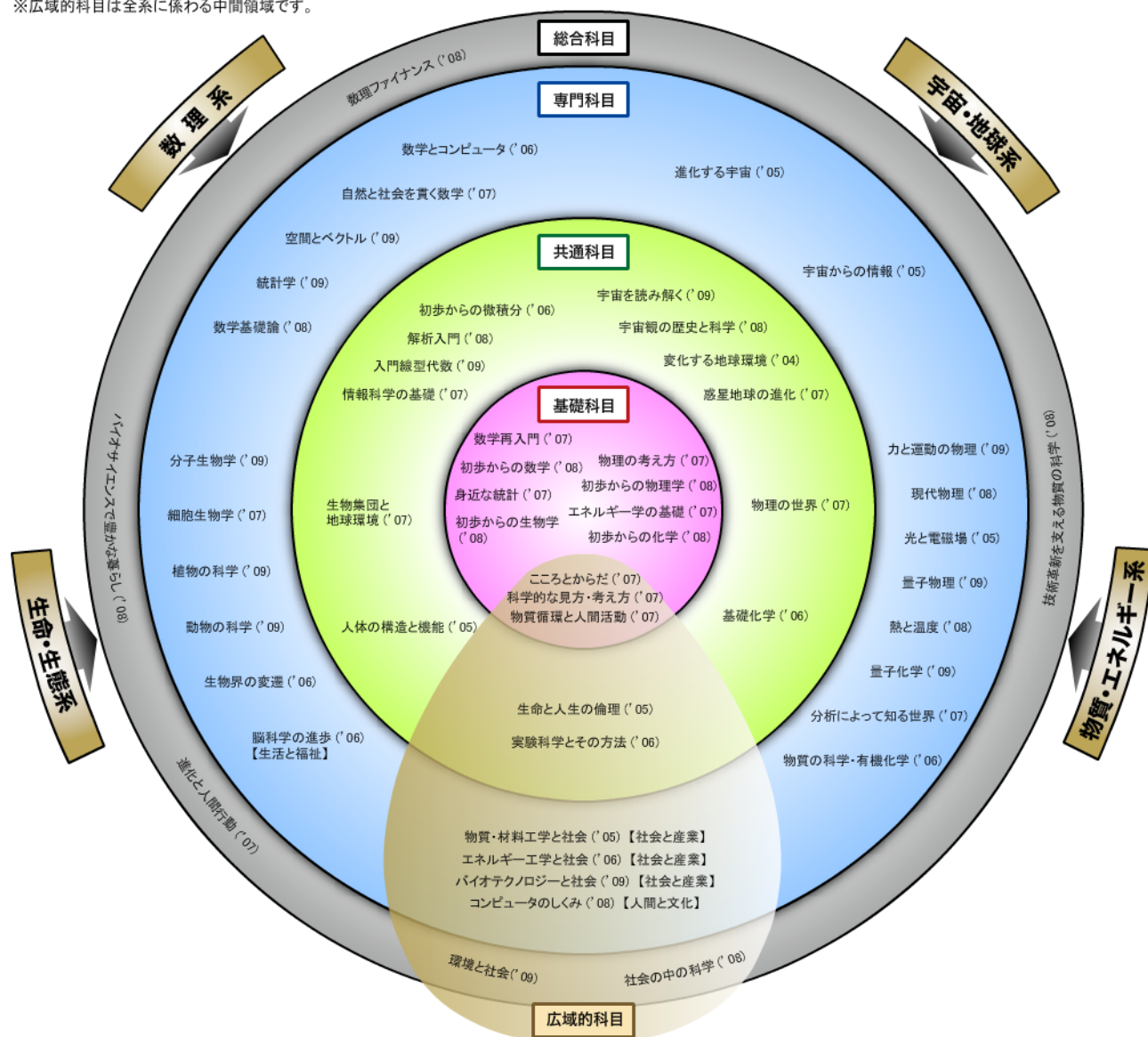
人類学・比較文化	人類の歴史・地球の現在('07)	人文地理学('08)	博物館概論('07)	社会調査('09)	文化人類学('08)	資源人類学('07)
	博物館資料論('08)	博物館経営・情報論('08)	考古学('09)	前近代の東南アジア('06)	中央アジアの歴史・社会・文化('04)	
	人口減少社会の生活像('06)【生活と福祉】	認知科学の展開('08)【心理と教育】	進化と人間行動('07)	途上国の開発('07)		

文学・言語文化	世界の名作を読む('07)	文学の愉しみ('08)	国文学入門('08)	日本の古典—古代編('09)	日本の古典—散文編('06)
	日本の古典—江戸文学編('06)	日本の近代文学('09)	日本文学の読み方('09)	20世紀の中国文学('05)	文献学('08)

自然と環境コース

《イメージ図の見方》

円の外周に行くほど専門性が深まる科目となります。
系と系の間に記載された科目は、中間領域や関連領域です。
※広域的科目は全系に係わる中間領域です。



学習テーマ別履修例

生命・生態系	初歩からの生物学 ('08) 生物集団と地球環境 ('07) 人体の構造と機能 ('05) 分子生物学 ('09) 細胞生物学 ('07) 植物の科学 ('09) 動物の科学 ('09) 生物界の変遷 ('06) 脳科学の進歩 ('06) 【生活と福祉】 バイオサイエンスで豊かな暮らし ('08) 進化と人間行動 ('07)
物質・エネルギー系	初歩からの物理学 ('08) 初歩からの化学 ('08) 物理の考え方 ('07) エネルギー学の基礎 ('07) 物理の世界 ('07) 基礎化学 ('06) 力と運動の物理 ('09) 分析によって知る世界 ('07) 物質の科学・有機化学 ('06) 光と電磁場 ('05) 量子化学 ('09) 量子物理 ('09) 熱と温度 ('08) 現代物理 ('08) 技術革新を支える物質の科学 ('08)
宇宙・地球系	宇宙を読み解く ('09) 宇宙観の歴史と科学 ('08) 惑星地球の進化 ('07) 変化する地球環境 ('04) 進化する宇宙 ('05) 宇宙からの情報 ('05)
数理系	初歩からの数学 ('08) 数学再入門 ('07) 身近な統計 ('07) 入門線型代数 ('09) 解析入門 ('08) 情報科学の基礎 ('07) 初歩からの微積分 ('06) 空間とベクトル ('09) 統計学 ('09) 数学基礎論 ('08) 自然と社会を貫く数学 ('07) 数学とコンピュータ ('06) 数理ファイナンス ('08)
広域的科目	ここらからだ ('07) 科学的な見方・考え方 ('07) 物質循環と人間活動 ('07) 実験科学とその方法 ('06) 生命と人生の倫理 ('05) エネルギー工学と社会 ('06) 【社会と産業】 物質・材料工学と社会 ('05) 【社会と産業】 バイオテクノロジーと社会 ('09) 【社会と産業】 コンピュータのしくみ ('08) 【人間と文化】 社会の中の科学 ('08)

入学から単位修得・卒業までの流れ

長い時間をかけて

ゆっくりと卒業することもできます。

選科・科目履修生として修得した単位も全科履修生入学時に卒業要件単位として認定されます。無理なく学習できることを試してから全科履修生として卒業を目指すことも可能です。

また、全科履修生の1年次に入学された場合、最長10年間在学できます。1学期(半年間)に6～

8単位ずつ修得しながらマイペースで卒業することもできます。

なお、10年間の在籍期間を満了された方が、全科履修生に再入学された場合には、すでに修得した単位は全て卒業要件として認定されます。

卒業研究

卒業要件

■科目区分による卒業要件		単位修得上の要件等
総修得単位数	124単位以上	
科目区分	修得すべき単位数	
基礎科目	30単位以上	①基礎科目及び共通科目からそれぞれ8単位以上を修得し、そのうち外国語科目(基礎科目、共通科目を問わない)を6単位以上履修する。
共通科目	60単位以上	①専門科目は、所属するコースの専門科目から30単位以上を修得する。なお、卒業研究の8単位は所属するコースの専門科目として認定する。
専門科目		②総合科目は4単位以上を修得する。
総合科目		

※2009年度から科目区分が共通科目、専門科目の2区分から基礎科目、専門科目、総合科目の4区分に変わります。

授業区分による卒業要件

■授業区分による卒業要件		単位修得上の要件等
総修得単位数	124単位以上	
授業区分	修得すべき単位数	
放送授業	94単位以上	①放送授業から594単位以上、面接授業から20単位以上を修得する。
面接授業	20単位以上	②卒業研究は放送授業3単位、面接授業3単位として認定する。

全科履修生として最長の4年間で124単位を修得する場合、1学期(半年間)にして15～16単位程度修得が目安になります。在宅での毎週の標準的な学習量は、①放送授業の視聴/45分番組を6～8回程度②テキストによる学習/40～60ページです。このほか近隣の学習センターで20単位以上の面接授業(スクーリング)を修得する必要があります。

全科履修生
在学4年～コース

選科履修生
在学1年コース

科目履修生
在学半年コース

入学

印刷教材の送付

放送授業

面接授業
面接授業
選科履修生・科目履修生は後述ではありません

通信指導

単位認定試験

成績評価

単位修得

在4年以上 在学

卒業

NHKホールで行なわれた
卒業式の模様



答辞を讀む卒業生代表の大橋さん
(平成19年度卒業生)



●印刷教材(テキスト)

放送授業が行われる科目には、すべて印刷教材(テキスト)が用意されます。放送授業を視聴することと印刷教材による学習をあわせてすすめてください。印刷教材の代金は、授業料の中に含まれています。

●放送授業

各学期15週にわたって、15回(週1回、1回45分)の授業を行います。各科目は、原則としてテレビまたはラジオのどちらからによって授業を進めます。都合により放送を視聴できない場合は、学習センターに備えつけたビデオテープ・DVDやオーディオテープ・CDで再視聴することができます。

●面接授業(スクーリング)

全科履修生は、各学習センターで教員から直接指導を受ける面接授業を、卒業までに20単位以上修得する必要があります。選科履修生及び科目履修生についても履修は可能です。面接授業は、皆さんができるだけ出席し、平日より1日のシカヤ士・日曜日も行っています。

●通信指導(レポート)

放送授業が行われる科目について、各学期開始から第8回までの範囲で出題され、卒業を大学に提出することになります。こうした通信指導は各学期途中に行われ、最終結果により単位認定試験の受験資格が得られます。

●単位認定試験

各学期の放送授業が終了した後、各科目について学習センター等で試験を実施します。合格した学生には、単位の認定を行います。

●卒業研究

全科履修生は、最終年度に卒業研究(選科)を履修することができます。ただし、履修開始前年度に「卒業研究申請書」を提出し審査を受け履修が認められなければなりません。卒業研究は直接教員の指導を受けながら行います。



平成19年度 放送大学学位記贈呈式

学習センター等

各都道府県に設置された全国57ヶ所の 学習センター等があなたのキャンパスです。

全国都道府県57ヶ所の学習センター・サテライトスペースが皆さんのキャンパスです。テレビやラジオ等の授業を再視聴したり、面接授業や単位認定試験を受ける場所です。学

習以外にも、同好会・サークル活動や学友との語らいを楽しむことができます。また、学習センター等は土曜・日曜も利用できます。(月曜・祝日は休み)

- 北海道**
北海道学習センター ☎011-736-6318
札幌市北区北17条西8丁目(北海道大学構内)
- 旭川サテライトスペース ☎0166-22-2627
旭川市常磐公園(旭川市常磐館内)
- 青森**
青森学習センター ☎0172-38-0500
弘前市文京町1(弘前大学文京町地区内)
- 八戸サテライトスペース ☎0178-70-1663
八戸市一番町1-9-22(八戸地域地場産業振興センター(ユートリー)内)
- 岩手**
岩手学習センター ☎019-653-7414
盛岡市上田3-18-8(岩手大学構内)
- 宮城**
宮城学習センター ☎022-224-0651
仙台市青葉区片平2-1-1(東北大学片平地区内)
- 秋田**
秋田学習センター ☎018-831-1997
秋田市手形学園町1-1(秋田大学内)
- 山形**
山形学習センター ☎023-646-8836
山形市城南町1-1-1(霞城セントラル内)
- 福島**
福島学習センター ☎024-921-7471
郡山市桑野1-22-21(郡山女子大学内)
- いわきサテライトスペース ☎0246-22-7318
いわき市平鎌田字寿金沢22-1(東日本国際大学内)
- 茨城**
茨城学習センター ☎029-228-0683
水戸市文京2-1-1(茨城大学内)
- 栃木**
栃木学習センター ☎028-632-0572
宇都宮市峰町350(宇都宮大学構内)
- 群馬**
群馬学習センター ☎027-230-1085
前橋市若宮町1-13-2(群馬県立図書館北)
- 埼玉**
埼玉学習センター ☎048-650-2611
さいたま市大宮区錦町682-2(大宮情報文化センター内)
- 千葉**
千葉学習センター ☎043-298-4367
千葉市美浜区若葉2-11(放送大学本部敷地内)
- 東京**
東京世田谷学習センター ☎03-5486-7701
世田谷区下馬4-1-1
- 東京文京学習センター ☎03-5395-8688
文京区大塚3-29-1(筑波大学東京キャンパス内)
- 東京足立学習センター ☎03-5244-2760
足立区千住5-13-5(学びピア21内)
- 東京多摩学習センター ☎042-349-3467
小平市学園西町1-29-1(一橋大学小平国際キャンパス内)
- 神奈川学習センター ☎045-710-1910
横浜市南区大岡2-31-1
- 新潟**
新潟学習センター ☎025-228-2651
新潟市中央区旭町通1番町754(新潟大学旭町地区内)
- 富山**
富山学習センター ☎0766-56-9230
射水市黒河5180(富山県立大学内)
- 石川**
石川学習センター ☎076-246-4029
石川郡野々市町扇が丘7-1(金沢工業大学内)
- 福井**
福井学習センター ☎0776-22-6361
福井市手寄1丁目4-1(AOSSA 7階)
- 山梨**
山梨学習センター ☎055-251-2238
甲府市武田4-4-37(山梨大学甲府キャンパス内)
- 長野**
長野学習センター ☎0266-58-2332
諏訪市諏訪1-6-1(スワプラザビル4階)
- 岐阜**
岐阜学習センター ☎058-273-9614
岐阜市藪田南5-14-53(岐阜県県民ふれあい会館第2棟2階)
- 静岡**
静岡学習センター ☎055-989-1253
三島市文教町1-3-93(静岡県立三島陵高等学校2階)
- 浜松**
浜松サテライトスペース ☎053-453-3303
浜松市中区早馬町2-1(クリエート浜松2階)

- 愛知**
愛知学習センター ☎052-831-1771
名古屋市昭和区八事本町101-2(中京大学センタービル4階)
- 三重**
三重学習センター ☎059-233-1170
津市一身田上津部田1234(三重県総合文化センター内)
- 滋賀**
滋賀学習センター ☎077-545-0362
大津市瀬田大江町横谷1-5(龍谷大学瀬田キャンパス内)
- 京都**
京都学習センター ☎075-371-3001
京都市下京区西洞院通堀小路下(キャンパスプラザ京都内)
- 大阪**
大阪学習センター ☎06-6773-6328
大阪市天王寺区南河堀町4-88(大阪教育大学天王寺キャンパス内)
- 兵庫**
兵庫学習センター ☎078-805-0052
神戸市灘区六甲台町2-1(神戸大学六甲台キャンパス内)
- 姫路**
姫路サテライトスペース ☎079-284-5788
姫路市本町68-290(イーグレひめじ地下2階)
- 奈良**
奈良学習センター ☎0742-20-7870
奈良市北魚屋東町(奈良女子大学コラボレーションセンター3階)
- 和歌山**
和歌山学習センター ☎073-431-0360
和歌山市西高松1-7-20(和歌山大学松下会館内)
- 鳥取**
鳥取学習センター ☎0857-37-2351
鳥取市富安2-138-4(鳥取市役所駅南庁舎5階)
- 島根**
島根学習センター ☎0852-28-5500
松江市白湯本町43(スティックビル4階)
- 岡山**
岡山学習センター ☎086-254-9240
岡山市津島中3-1-1(岡山大学内)
- 広島**
広島学習センター ☎082-247-4030
広島市中区東千田町1-1-89(広島大学東千田地区内)
- 福山**
福山サテライトスペース ☎084-991-2011
福山市霞町1-10-1(まなびの館ロースコム3階)
- 山口**
山口学習センター ☎0836-88-3020
山陽小野田市大学通1-1-1(山口東京理科大学構内)
- 徳島**
徳島学習センター ☎088-602-0151
徳島市新蔵町2-24(徳島大学日亜会館3階)
- 香川**
香川学習センター ☎087-837-9877
高松市幸町1-1(香川大学内)
- 愛媛**
愛媛学習センター ☎089-923-8544
松山市文京町3(愛媛大学内)
- 高知**
高知学習センター ☎088-843-4864
高知市曙町2-5-1(高知大学内)
- 福岡**
福岡学習センター ☎092-473-1365
福岡市博多区博多駅南1-14-12(博多織会館内)
- 北九州**
北九州サテライトスペース ☎093-561-9879
北九州市小倉北区内4-1(北九州市立中央図書館2階)
- 佐賀**
佐賀学習センター ☎0952-22-3308
佐賀市天神3-2-11(アバンセ4階)
- 長崎**
長崎学習センター ☎095-813-1317
長崎市文教町1-14(長崎大学文教キャンパス内)
- 熊本**
熊本学習センター ☎096-341-0860
熊本市黒髪2-40-1(熊本大学内)
- 大分**
大分学習センター ☎097-549-6612
大分市野田380(別府大学大分キャンパス内)
- 宮崎**
宮崎学習センター ☎0982-53-1893
日向市本町11-11
- 鹿児島**
鹿児島学習センター ☎099-239-3811
鹿児島市山下町14-50(かごしま県民交流センター内)
- 沖縄**
沖縄学習センター ☎098-895-5952
中頭郡西原町字千原1(琉球大学内)

学習センターは国立大学や自治体の生涯学習施設などと同居しているケースが多く、大変学びやすい環境です。



宮城学習センター



群馬学習センター



山梨学習センター



東京足立学習センター



神奈川学習センター



愛知学習センター



徳島学習センター



沖縄学習センター

甲信越

東海

参 考

新しい時代における教養教育の在り方について（2002年 中央教育審議会答申）

参考 我が国の大学における教養教育について

我が国の大学における教養教育は、戦後、米国の大学のリベラルアーツ教育をモデルに一般教育として始まった。新制大学は、一般的、人間的教養の基盤の上に、学問研究と職業人養成を一体化しようとする理念を掲げており、このため、一般教育を重視して、人文・社会・自然の諸科学にわたり豊かな教養と広い識見を備えた人材を育成することが目指されたものである。こうして出発した一般教育であったが、その実施の過程で、次のような幾つかの問題も生じた。

(1) 各大学において、少人数教育や学生と教員の密接な交流などの全人的な教育を可能とするための教員数や施設などの条件整備が十分でなく、多くの場合、実際の授業は、一般教育の理念・目標と乖離したものになってしまったこと

(2) 一般教育を担当する組織や教員に、その理念が必ずしも浸透しておらず、学生にとっては一般教育の内容が高等学校教育の焼き直しに映る一方、教員の側にも一般教育の意義や目的が不明確であり、また、専門学部との連携協力も不十分であったこと

(3) 1956年から1991年までの大学設置基準においては、人文科学、社会科学、自然科学、外国語、保健体育などの授業科目の区分や履修単位などが一律に定められており、進学率の上昇に伴い多様化した大学の実態に適合していなかったこと

こうした問題点を踏まえ、1991年に大学設置基準が大綱化され、授業科目の区分やこれに応じた卒業要件単位数の定めなどの取り扱いを弾力化し、これらを各大学の自主的な取組にゆだねることとなった。これは、「学問のすそ野を広げ、様々な角度から物事を見ることができる能力や、自主的・総合的に考え、的確に判断する能力、豊かな人間性を養い、自分の知識や人生を社会との関係で位置付けることのできる人材を育てる」という教養教育の理念・目的を、一般教育科目だけでなく、広く大学教育全体を通じて実現することを目指すものであった。また、大学の多様化が進み、大学により教育理念や教育研究環境が大きく異なる中で、教養教育の

在り方を一律に縛るのには限界があり、大学設置基準の大綱化により各大学における自主的な改革の取組を促すことを通じて、教養教育の改善を図ろうとするものであった。

大学設置基準の大綱化は、各大学における教養教育の改革の取組を促し、多くの大学において、「くさび型」のカリキュラム編成など教養教育と専門教育の一貫教育の実施、特色ある授業科目の導入、選択幅の拡大などのカリキュラム改革が進むとともに、セメスター制の導入や学生による授業評価などを通じた指導方法の改善等に取り組む大学が増加した。さらに、1999年の大学設置基準の改正において、各大学の自己点検・評価が義務づけられるとともに、履修科目登録単位数の上限の設定、教育内容等の改善のための教員の組織的研修（ファカルティ・ディベロップメント）の努力義務化等が行われた。

また、教養教育の実施体制については、大学設置基準の大綱化に伴い国立大学を中心に教養部が改組され、多くの場合、全学共通の実施組織が設けられ、全学部の代表からなる委員会の下で学部にも所属する教員が授業を担当するようになった。このように、大学設置基準の大綱化及びその後の改正を踏まえて、多くの大学で教養教育の改革が行われたが、一方で、次のような課題を抱えることとなった。

(1) 教養教育の位置付けをあいまいにしたまま、教養教育に関するカリキュラムを安易に削減した大学が存在すること

(2) 教養教育に対する個々の教員の意識改革が十分に進んでおらず、ややもすれば専門教育が重要で、教養教育を面倒な義務と考える教員が存在すること、また、教養教育を担当する教員が積極的に取り組むインセンティブが不十分なため、具体的な教育方法や内容の改善が進まないこと

(3) 教養部に代わって設置された教養教育の実施組織の学内での責任体制が明確でなく、その結果、教養教育の改善が全学的取組となっていないこと

(4) 学生の側に、教養教育を含め学部4年間の教育に対する目的意識が明確でなく、教養教育に熱心に取り組む意欲が乏しいこと

データで見る放送大学の概要

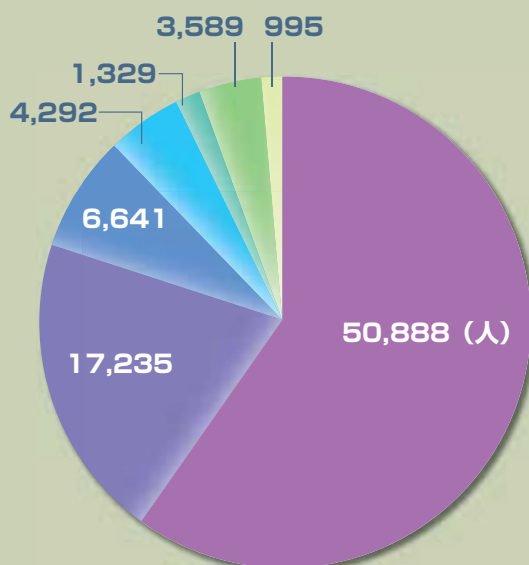
教職員数

[単位：人]

役員	5
学長	1
副学長	2
教員	86
事務職員	253
合計	347

2008年度

●学生種別 在学学生数



在学学生数

[単位：人]

教養学部	
学生の種別等	在学生
全科履修生	50,888
選科履修生	17,235
科目履修生	6,641
特別聴講学生	4,292
合計	79,056

2008年度第2学期

大学院	
学生の種別等	在学生
修士全科生	1,329
修士選科生	3,589
修士科目生※	995
合計	5,913

2008年度第2学期

集中科目履修生	
学生の種別等	在学生
学校図書館司書教諭講習	1,106
看護師資格取得に資する科目	488
合計	1,594

2008年度

※ 特別聴講学生を含む

(注) 特別聴講学生とは、他の大学等の学生で当該大学等と放送大学との協定に基づき、本学において科目の履修を行っている学生です。

入学者数

[単位：人]

教養学部			
学生の種別等	1学期	2学期	合計
全科履修生	6,395	3,244	9,639
選科履修生	11,935	5,323	17,258
科目履修生	5,574	6,641	12,215
特別聴講学生	1,908	4,292	6,200
合計	25,812	19,500	45,312

2008年度

大学院			
学生の種別等	1学期	2学期	合計
修士全科生	475	—	475
修士選科生	2,743	823	3,566
修士科目生	969	992	1,961
特別聴講学生	0	3	3
合計	4,187	1,818	6,005

2008年度

単位互換協定締結校数 [単位：校]

学生の種別等	校数
大学	235
短大	83
高专	9
合計	327

(2009年3月現在)

学部卒業生数

[単位：人]

1学期	2学期	合計	累計
1,929	3,230	5,159	56,174

2008年度

大学院修了数

[単位：人]

1学期	2学期	合計	累計
9	414	423	2,412

2008年度